

## ネットいじめ

Webサイトや電子メール、携帯電話などといじめの手段として悪用されることがある。対面に比べて匿名性が高いため、加害者は容易に行動しやすく、また、被害者の表情や顔が見えないため、気持ちがわかりにくい。そのためエスカレートしやすい。

## ①デマ

demagogic :

特定の利益のために流すでたらめな情報。ドイツ語のデマゴギー(demagogie)の略語。

## オンラインコミュニティの課題

電子掲示板やブログ、SNSを利用することで、興味・関心の共通する仲間や友人といつでもコミュニケーションをとったり、新たな人間関係を構築したりできるようになった。いっぽう、オンラインコミュニティでとくに気をつけなければならない問題も発生している。

## ・情報の信憑性

実名を書かない無責任な書き込みやデマ<sup>①</sup>も多い。また、それがすぐに広まったり蓄積されたりする。



[15]

## ・誹謗中傷

顔が見えないコミュニケーションでは、表情から気持ちを察することができないために、一つの発言から相手への批判、侮辱など激しい応酬が続いてしまう(フレーミング<sup>②</sup>)。



[10]

## ②フレーミング

flaming :

ネットワーク上で激しいやり取りが続き、やめられない状態に陥ること。

なかでも、「炎上」というと、ブログやSNSなどに書き込んだ内容に対して、批判的なコメントが殺到する状態のことを指す。犯罪行為や、反道徳のことなどを書き込むことで発生することが多い。匿名のブログでも、ほかの記事などから個人を特定され、学校や職場などに抗議の電話がかかってくるなどのトラブルに発展する場合もある。

## ・個人情報関連のトラブル

不用意に自分の情報を書き込むことで悪用されたり、他人に勝手に氏名や顔写真を公開されたりする。



[15]

## ・なりすまし

インターネット上で、そのユーザのふりをする。ほかのユーザには、なりすましているのかどうか容易にわからない。



## オンラインコミュニティに参加する責任

オンラインコミュニティのサービスには、ユーザの投稿、写真などの個人が発信した情報が大量に蓄積されていく。サービスを提供する企業は、プライバシーポリシー<sup>③</sup>を策定し、その安全な運用に努めている。オンラインコミュニティを使用するユーザは、プライバシーポリシーや利用規約<sup>④</sup>を理解した上で利用しなければならない。

参加するユーザー一人ひとりの発言、投稿の蓄積によってオンラインコミュニティの信頼性はつくられる。ユーザの意思により、望ましいコミュニケーションの文化やルールを生み出していくことが情報社会の発展には重要である。

③プライバシーポリシー  
privacy policy :

個人情報保護基本方針。個人情報をどのように扱うのかが記してある。

## ④利用規約

サービス提供者が提示する、サービスを利用するにあたってのルールのこと。利用規約の中にプライバシーポリシーが書かれていることもある。

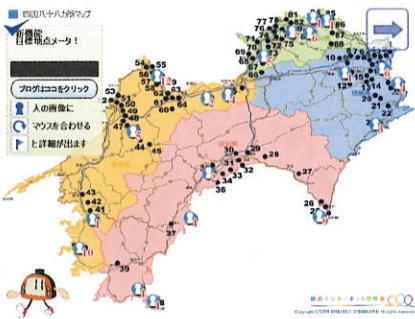
COLUMN  
コラム

## みんなでウォーキング

健康維持、管理を目的に、ウォーキングを行う人をよく見かけるが、一人で毎日歩き続けるのは難しい。「歩く」という目的をもった仲間どうしが、携帯日記とともに毎日の歩数をブログで発信し合う。その記録が自動的に収集され、四国八十八か所のお遍路地図上に反映されていく。そんなインターネット上のサービスが、「ユビキタス双六遍路」である。

どこからでも参加でき、知らない人どうしがネットの地図上で出会い、お互いに励まし合ったり、更新されるペースか

ら体調を気づかったり、インターネットを使った新しいつながりの形が見えはじめている。



## PRACTICE

実習  
21

## オンラインコミュニティによる共同作業

多数の参加者で役割分担をしながら作業を遂行する際、インターネットを利用することで効率的に進められることがある。グループで修学旅行のガイドブックを作成してみよう。また、それらコミュニティサービスを快適に活用するためのルールをつくろう。

## 1 環境の構築

- ・オンライン上で共有すべき情報を考える。
- ・使用するサービスを選ぶ。(電子掲示板、SNSなど)

## 2 役割分担の決定

- ・制作に必要な役割を考え、グループ数を決める。
- ・役割ごとの人数を考え、担当する人を決める。

## 3 計画を立てる

- ・全体の締め切りから逆算してスケジュールを考える。
- ・サービス活用のルールを決める。

## 4 作業を進める

- ・作業の進み具合を報告する。
- ・途中の制作物をアップロードし、共有する。

## 5 相互評価

- ・グループ間で制作物に対する質問やアドバイスを送り合う。
- ・コメントをもとにこれまでの活動を振り返り、改善する。

## 6 統合する

- ・各グループで制作したものを1冊にまとめる。
- ・実際に修学旅行で使ってみて全体の振り返りを行う。